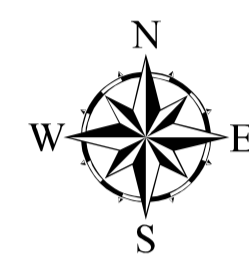


高知港 津波防災情報図(引潮図)

計算条件：最低水面

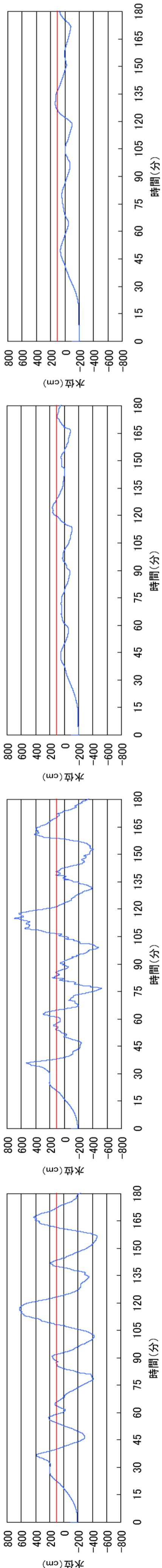
隆起量：平均 -192cm(-199cm ~ -172cm)

津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。

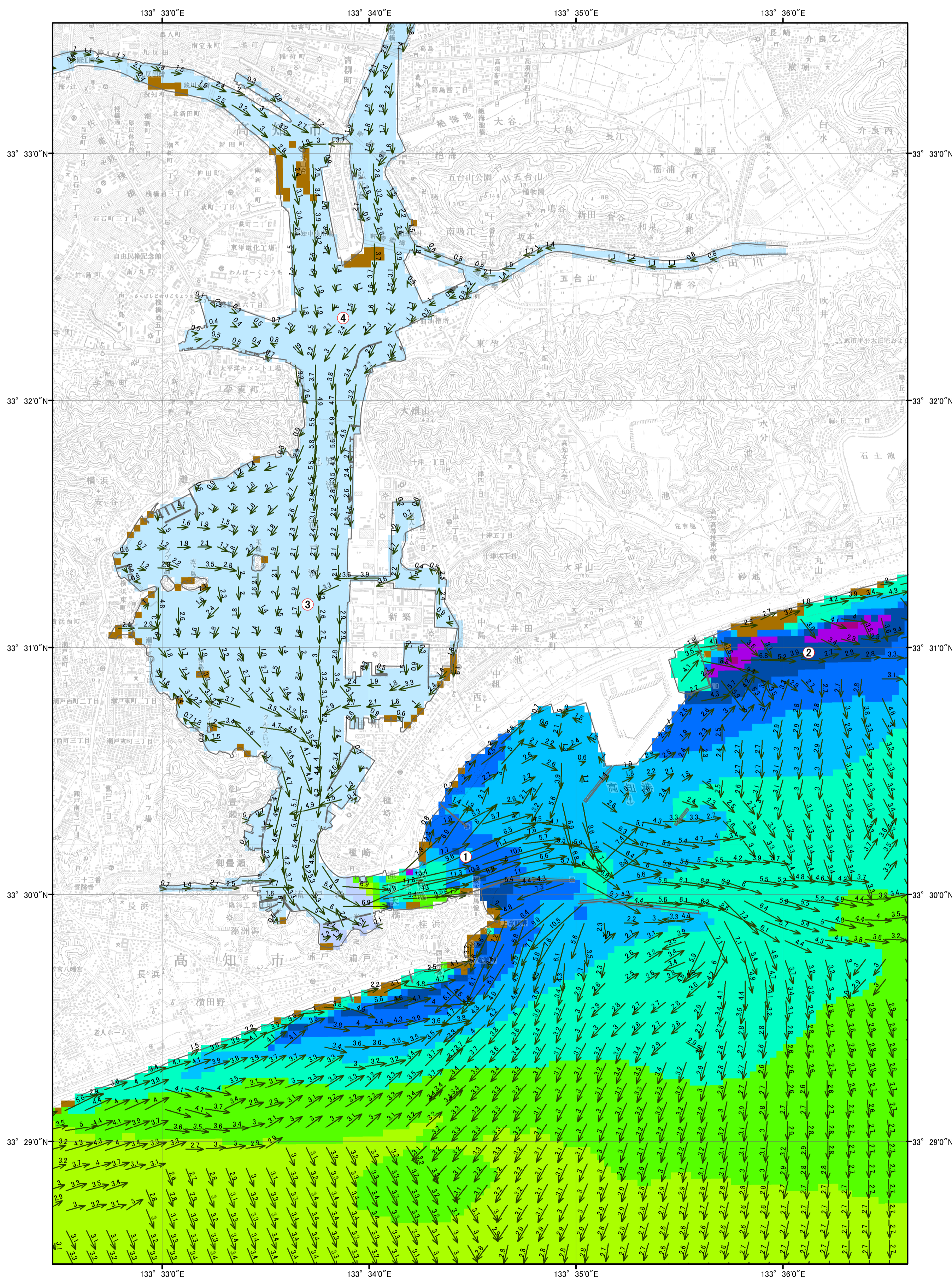


1:20,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系(WGS84)

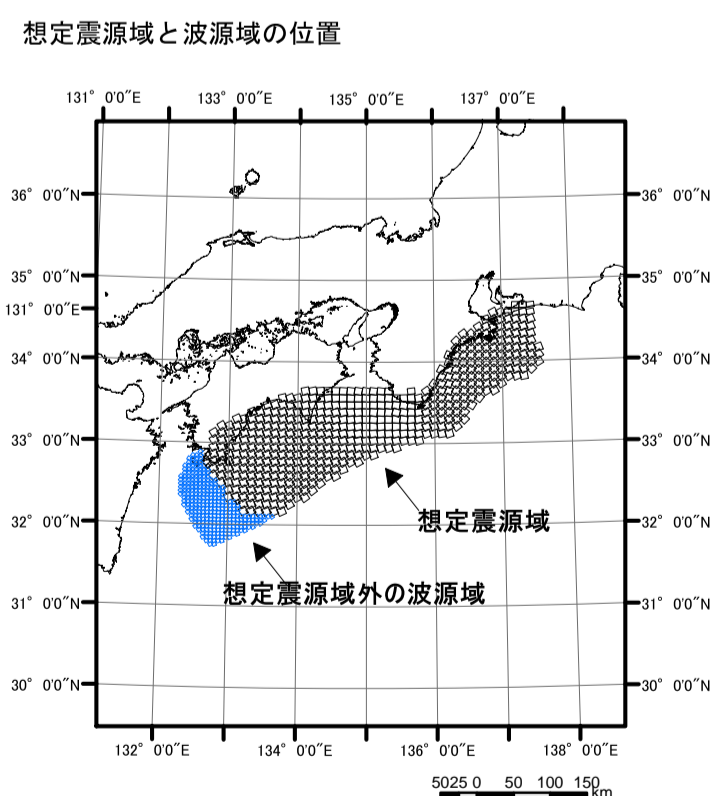


経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。



- 凡例**
- 露出域
 - 経時変化図出力点
- 最大水位低下**
- 600~最大610cm
 - 550~600cm
 - 500~550cm
 - 450~500cm
 - 400~450cm
 - 350~400cm
 - 300~350cm
 - 250~300cm
 - 200~250cm
 - 150~200cm
- 引潮時最大流 [knot]
- 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。



| マクロ的に見たパラメータ | 南海地震 | 東南海地震 |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 断層面積 S (km ²) | 約 36,500 | 約 14,500 |
| 地震モーメント Mo (N·m) | 8.34 X 10 ²¹ | 2.15 X 10 ²¹ |
| 平均すべり量 D (m) | 5.70 | 3.63 |
| モーメントマグニチュード Mw | 8.55 | 8.15 |

・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データを使用した。
 ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平15総使、第673号)
 ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号 平15総使、第672号)

